

新生児の聴覚検査に公費助成を

質問者 下野 義子

新生児の1,000人に1人から2人の割合で難聴が発生すると言われている。難聴の発見が遅れると言語能力やコミュニケーション能力が正常に発達できなくなる。聴覚検査を受けない場合、2歳から3歳くらいになるまで難聴に気づけないケースもある。早期発見が早期治療に繋がることから、新生児の段階で検査を受けることが重要である。この検査の受診を推進するため、啓発のみならず、検査費用の助成を行うべきと考えるが。